

2021年1月20日

熊本県知事 蒲島郁夫様  
熊本県教育委員会委員長 古閑 陽一 様

「熊本県の学校給食に国産小麦を使用してください」要望書・署名の提出について

貴職におかれましては益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

くまもとのタネと食を守る会では、種子法の廃止に伴い、2019年5月に「主要農作物種子条例化実行委員会」として発足し、同年6月1日に「くまもとのタネと食を守る会」と改称して、県内の団体・個人に協賛をいただく形で、多くの活動を行ってまいりました。2019年度の活動の中で、3回の学習会を開催し、参加は延べ人数390名、そして、2019年12月には熊本県主要農作物種子条例化が実現しました。

多くの方々と共に学習する中で、除草剤グリホサートなど農薬の人の健康への影響についても学び、また、学校給食のパンに使われている海外産輸入小麦の残留グリホサート検出の問題を知り考えるようになりました。くまもとのタネと食を守る会の中にプロジェクトチームを作り、2020年9月19日には、除草剤グリホサートやネオニコチノイド農薬等の人の健康への影響について専門の講師を招き学習会を行いました。

特に、幼児や子どもたちの健康への影響が憂慮されていることから、除草剤グリホサート残留検出が報告されている海外産輸入小麦を使った食品の問題を広く伝えるとともに、学校給食の材料に海外産輸入小麦を使用することを止めて、国産小麦を使ってくださいという要望を、熊本県知事、熊本県教育委員長へ届けることに賛同する方を募る活動をしてまいりました。この度、署名集約の一次締め切り12月25日までに、県北地域の菊池市、山鹿市、荒尾市、玉名市、県央地域の熊本市、また、阿蘇市、天草市、八代市、水俣市、人吉市など県内各地域から署名が集まりました。(一部、県外在住の方から届けられた署名も含まれます。)

本日、要望書に署名用紙を添えて、提出致します。

つきましては、本日お届けする要望内容につきまして、是非、ご検討・対応して戴きますよう、よろしくお願い致します。

くまもとのタネと食を守る会  
学校給食署名活動プロジェクト  
賛同者・賛同団体一同

以上